

Ⅳ-4 巣立ちゆく子どもを見守りましょう

【プログラムのねらい】

・親子だから分かっていると過信をしていることに気付き、子どもの話を聞く姿勢など、親子の触れ合いを充実させるための親の姿勢について考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他己紹介 ・グループ分け(6人のグループに分ける) 	P2「アイスブレイキング各種」参照 名札
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6人1組でグループワークを行う。 ※進行1名、記録・発表1名を決める。 ・エピソードを読みワークシートに記入する。 <ol style="list-style-type: none"> ①自分の気づきをメモし、グループで話し合う。 ※ 親子、父親の気持ちを考える。 ②分かり合える親子関係について考え、話し合う。 ③「子どもに語ろう」一言集〈子どもから大人へ〉と〈アドバイス〉を読み、巣立っていかうとする子どもは家族にどんなことを感じているかを書き、話し合いをする。 	ワークシート 筆記用具 資料
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た意見を全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート